

3 きくースプレーぎく

1 試験区ならびに調査対象株数

項目		必要株数(最少株数)	必要面積(最小面積) ⁽¹⁾
試験区(1区当り)		32株(16株)	1.68m ² (0.84m ²)
調査対象 (1区当り)	生育調査等	20株(16株)	1.05m ² (0.84m ²)
	収量調査等	20株(16株)	1.05m ² (0.84m ²)

(1)栽植密度を株間15cm、条間15cm、4条植え、a当たり1905株としたときの面積

2 生育調査

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁
挿芽期		挿し芽をした日	B	観察	月日	1
定植期		定植をした日	A	観察	月日	1
摘心時期		摘心をした日	A	観察	月日	1
定植時の苗質	草丈	地際部から葉の先端まで	B	測定	cm	0.1
	葉数	展開葉数	B	測定	枚	0.5
	根長	最大根長	C	測定	cm	0.1
生育(短日処理 開始時期)	草丈	地際部から葉の先端まで	B	測定	cm	0.1
	節数	展開葉数	B	測定	枚	0.5
短日処理開始時期		シェード栽培において	A	観察	月日	1
電照時期		電照栽培において	A	観察	月日	1
出蕾期		50%の株が出蕾した日	B	観察	月日	1
採花始		定植株数の10%を採花 ⁽²⁾ した日	A	観察	月日	1
採花期		採花数が目標採花数 ⁽³⁾ の50%に達した日	B	観察	月日	1
平均採花日			C	算出	月日	1
採花終		最終採花日又は、採花打ち切り日	A	観察	月日	1
採花期間		採花始から採花終までの日数	C	算出	日	1
到花日数		定植期から採花期までの日数	B	算出	日	1
開花反応期間		短日処理開始時期から採花始までの日数	B	算出	日	1
障害の種類と発生程度	病害虫	重要なものについてはその名前を記す	B	観察	指数	1
	生理障害	0:無、1:少、2:中、3:多、4:甚				

(2)採花適期(切り前):頂花が開花した時

(3)目標採花数:栽植株数×仕立本数

3 採花・収量調査

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁
a当り	採花数		A	算出	百本	1
	規格別採花数	北海道切花統一出荷基準による	B	算出	百本	1
	階級別採花数	90cm以上、80~90cm、70~80cm、70cm以上合計、70cm未満	B	算出	百本	1
スプレーフォーメーション		[良好(花穂の形が円錐形、円筒形)]:5 ~[不良(頂花座止)]:1	B	観察	指数	1
株当たり採花数			A	算出	本	1

4 採花期前後における切り花特性

項 目		調 査 基 準	ランク	調査	単位	最小桁
草姿全体	切花長	切り花基部から花の先端までの長さ	A	測定	cm	1
	切花重	採花をしたそのままの重量	B	測定	g	1
	調製重 ⁽³⁾	切り花長90cmに調製したときの重量	B	測定	g	1
	花房長	最下位分枝着生部から頂端までの長さ	B	測定	cm	1
	花房幅	花房の横幅	C	測定	cm	1
	節間長	切り花長／節数	C	算出	cm	0.1
	一次側枝長	最下位の一次側枝の長さ	C	測定	cm	1
	頂花花首長	頂花から最上位の分枝着生部までの長さ	C	測定	cm	0.1
	下垂度	切り口を支点にしたときの下垂角度 [無]:0、[小]:1、[中]:3、[大]:5	A	観察	指数	1
	茎の曲がり	花房と茎基部を結ぶ線からの曲がり [無]:0、[小]:1、[中]:3、[大]:5	A	観察	指数	1
	花蕾数	着蕾した花蕾の数	C	測定	個	1
	切り花節数	頂花までの節数	C	測定	個	1
	一次側枝数	一次側枝の数	C	測定	個	1
	一次側枝当たりの花蕾数	花蕾数／一次側枝数	C	算出	個	1
葉の付き方	[上向き]:5～[下向き]:1	C	観察	指数	1	
茎	茎の硬さ	[硬]:5～[軟]:1	C	観察	指数	
	茎 径	切り口の最大径	B	測定	mm	0.1
葉	葉身長	最大葉の長さ	C	測定	cm	1
	葉身幅	最大葉の幅	C	測定	cm	1
	葉 色	[濃緑]:5～[黄緑]:1	C	観察	指数	1
花	花 径	満開花の最大径	B	測定	cm	0.1
	花弁長	外花弁の長さ	C	測定	cm	1
	花弁幅	外花弁の幅	C	測定	cm	1
	花弁色	内花弁、外花弁の主体となる地色、可能ならばJHSカラーチャートのコードNo.又は色彩色差を	B	測定		
	花型	一重咲き、八重咲き、アネモネ咲き等	B	観察		
日持ち性 ⁽⁴⁾	日持ちの良否	[良]:5～[不良]:1、または日数	B	観察 測定	(日)	1

(3) 調製方法: 切り口から20cmを目安に下葉を取り除く

(4) 日持ち性: 室温(20℃程度)における調査

